

事例 No.	60	人口規模	10万人以上	地域ブロック	関東	事業タイプ		拠点整備		事業主体	地方公共団体 任意団体
<b>事業名</b>	北山伏子育て支援協働モデル事業										
<b>実施地方公共団体名</b>	新宿区(東京都)										
<b>特徴・ポイント</b>	<p>廃園後の区立保育園の活用について、これまでのような区がサービスを提供し、区民がそのサービスを利用するというような施設ではなく、子育て中の親の思いを実現する子育て支援施設として、事業内容・運営方法など事業全般にわたり、区民と区が協働して立ち上げた事業である。実際の事業運営は、自主的な区民による「ゆったりーの」が行っている。</p>										
<b>事業のねらいと内容</b>	<p>【ねらい】 区民と区が協働して事業展開することで、これまでにない新たな子育て支援施策の展開を図り、さまざまな子育て支援のニーズに応えていく。</p> <p>【内容】 「ゆったりーの」が行う主な事業として、  親と子の居場所づくり事業は、0～5歳児(未就学児)の親子のあそび場として「ひろば」を開放し、自由に親子が利用できる。季節ごとの行事や親子参加型の行事等も行っている。また、スタッフによる子育て相談も行っている。  「子育て支援団体の拠点事業」は、地域の子育て団体がワークスペースやフリールーム、メールボックス等の利用をすることで、さらに子育て支援ネットワークが広がることが期待される。また、「ゆったりーの」内にはリサイクルコーナーもある。</p>										
<b>導入・実施の背景・経緯 (事業の必要性)</b>	<p>新宿区では、家庭・地域・区が協働し、老若男女を巻き込んだ子育て支援を目指しており、区民と区が協働することによって、様々な子育て支援事業を展開する機運となっていた。</p>					<b>導入・実施に際して苦労した点</b>					
<b>事業の効果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先駆的・画期的な取組であり、他の協働事業のモデルとなったこと</li> <li>・住民が地域社会作りの「主体」として活動を実践したこと</li> <li>・行政だけではできない様々な事業展開により、多様化するニーズに対応できたこと</li> <li>・区と区民の事業展開に相乗効果が得られたこと</li> <li>・ひろば事業は、利用者数も多く、利用者評価もとても高いものであったこと</li> <li>・相談事業は、子育てをしているスタッフが相談に応じることで、利用者に安心感を与えたこと</li> <li>・子育て支援団体拠点事業は、様々な子育て支援団体とのネットワークが構築されたこと</li> </ul>					<p><b>実施にあたってのネックをどのように解決したか</b></p> <p>専門的な知識の確保 区担当者で連絡を密に取りながら事業を進めていったり、自主研修などを行って知識の向上に努めた。</p> <p>全国的にみても新たな試み。どのように事業をまとめあげていくのか 大学教授の方などにスーパーバイスを依頼し、助言を受けながら進めていった。</p> <p>「ゆったりーの」としての自主財源の確保 区の補助事業として一定の補助金交付を行った他、施設利用にあたっては会費制とした。</p>					
<b>事業のアピールをどのように行なったか</b>	<p>毎月発行の「ゆったりーの通信」や独自のホームページの作成・更新のほか、区報や区の広報ビデオ、他のメディア・情報誌等の媒体で広く周知を行った。</p>										
<b>必要な協力先・実施主体とその確保策</b>	<p>(必要な協力先) さまざまな子育て支援活動団体  (確保策) 「ゆったりーの」が積極的に連携を取っている。</p>										
<b>概算事業費 (千円/年度) 平成18年度予算</b>	<p>6,230千円  &lt;内訳&gt; 国庫補助金:5,000千円  一般会計:1,230千円</p>					<b>問い合わせ先</b>		<p>所属部署:新宿区子ども家庭課子ども家庭相談係  TEL:03-5273-4558  FAX:03-3209-1145</p>			